

2011年11月29日～2011年12月12日

# 台湾・香港・中国アウトリーチ



「わたしには天においても、地においても、  
いっさいの権威が与えられています。

それゆえ、あなたがたは行って、  
あらゆる国の人々を弟子としなさい。

そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、

また、わたしがあなたがたに命じておいた  
すべてのことを守るように、彼らを教えなさい。

見よ。わたしは、世の終わりまで、

いつも、あなたがたとともにいます。」

(マタイの福音書 28章 18節～20節)

# CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院 2012. 2-3月号 No.146



急いでまいります」(雅歌 1章4節)

『雅歌書』の解説を待つまでもなく、その男性がイエス様であり、その女性が私たちであることはおわかりいただけると思います。私たちは、自分の力で信仰生活することはできません！イエス様のもとに行くこともできません！そのことを知っていたジョン・ウェスレーは聖歌の中で、こう歌っています。

「おのく我らに、聖き御霊を吹き入れ、安きに導きたまえ。御旨逆ろう想いを除き、変わらずただ主を慕わせたまえ。」(聖歌 118 番)

「吹き入れたまえ」「導きたまえ」「除きたまえ」「慕わせたまえ」以上のような祈りなしに、クリスチャン生活の継続は不可能です。『雅歌書』の女性は、イエスのもとにゆくことの絶大な価値を知っていました。同時に、自分の力でそこにゆくことができないことも知っていたのです。ですから、「私を引き寄せてください」と祈ったのです。ご存じでしょうか？皆さんが、今年最初のこの礼拝に来ておられるのは、イエス様が引き寄せてくださったからだということを。私がクリスチャンになれたのも、そして今日まで信仰を持ち続けられたのも、みな主が私を引き寄せてくださったからです。では、主が引き寄せてくださる力を、われわれがもっとも強く感じるのはいつ、どんなときでしょうか？自分の弱さを感じる時です。パウロはこう言っています。「神の力は、われわれの弱さのうちに完全に現われる」と。自分の力でやってみて、何度も失敗し、自分の無力さを知り、それを悲しむとき、神の力は現われるというのです。

私が学んだイギリスの聖書学校にスピンドンという先生がいました。すばらしい説教者でした。同時にテナーの独唱家で、学校のクワイアの指揮者でもありました。奥さんはピアニストです。ある日の音楽の時間でした。楽譜を忘れた奥さんを、スピンドン先生が学生たちの前で厳しい口調で叱りつけました。奥さんは、プライドを傷つけられたと感じたのでしょう。ピアノをバンとたたいて教室を出て行ったのです。牧師や宣教師を養成するはずの聖書学校での光景です。その場にいた若い学生たちは失望しました。あんな人にはもうついてゆけないと、スピンドン先生を激しく批判する学生もいました。奥さんが教室を去ったあと、スピンドン先生は気まずそうにひとりの学生に言いました。「フランク、君は結婚しているから、理解してくれるだろうね」そんなスピンドン先生を私は非難できませんでした。むしろスピンドン先生の失敗は私にとって慰めでした。あんなに深く、心を探るような説教をする先生でさえ、自分を制することができないときがある。

みんなの前で自分の弱さをみじめなほどに見せざるを得なかったスピンドン先生に、私は同情はしても彼を非難することはできなかったのです。実は私も、クリスチャンになって、もう少しりっぱな人間になる予定でした。しかし現実は今もなお、多くの欠点をもったままの人間なのです。子どもたちが小学生の頃、妻はよくPTAの役員などをして学校とのかかわりを積極的にもっていました。ときどき教会でその会合が行なわれます。すると仲間のお母さん方が私を見かけます。見かけたお母さん方は決まって妻にこう言いました。「やさしそうなご主人ね。」すると妻は、「と思うでしょう。ところがね」と答えたものです。私の説教だけを聞いている人は、私のことをみな、説教のとおりの人だと思うでしょう。しかしどんな牧師にも、説教するときだけでなく、実際に生活しているときがあるものです。いったいどれだけの説教者が両者の生活を矛盾なく生きているのでしょうか。そう考えると、妻や子どもたちは、いつもえらいなと思います。私の毎日の生活を見ながら、なお説教を聞いてくれるからです。彼らが傷つかないのはなぜでしょうか。それは彼らが、人にではなく、神に希望をおいているからだと思います。長男は、高校生の頃、私によくこう言いました。「お父さんを見てみると、キリスト教の原罪(人はみな生まれながらに罪人であるという教え)がよくわかる。お父さんがときどき爆発してくれると、実のところ、僕はほっとするんだ！」こういうことばを聞くと、私は子どもたちの寛容さに驚くのです。夫婦は、お互いの合意でいっしょに暮らしています。しかし子どもたちは違います。彼らは欠点多い私たちを親にもつよりほかなかったのです。私たち親は、子どもたちの失敗を忍耐してやっていると思っているかもしれませんが、それ以上に、子どもたちが私たちの欠点を担ってくれているという事実をお考えになったことがあるでしょうか。子どもたちは、私たちの行なった多くの悪をゆるしてくれているのです。繰り返すようですが、キリスト教が求めているのは、われわれがりっぱな人間になることではありません！では、何が求められているのでしょうか？

ある聖徒は二つのことを主に求め、こう祈りました。「主よ、私の罪の深さを現わしてください。それとともに、あなたの恵みがどれほど深いものであるかを示してください」と。私たちが体験すべきなのも、この聖徒が祈った二つのものだと思います。第一は、自分の罪がいかに深く、絶望的であるかということ。第二は、神の恵みがどんなに大きく、深いものであるかということです。以上の二つを学ぶことが、人生の大きな目的であると言ってよいかもしれません。その聖徒は、さらにこうもう言っています。「もし神が、私たちの罪の深

(次ページに続く)

## MESSAGE

# 弱さの強み

## 神の力はどこに現わされるか？

「しかし、主は、『わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである』と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。」2コリント 12章9節

熊本県大津市 大津キリスト教会牧師・学院顧問  
米村 英二 師

■「わたしの力は、弱さのうちに完全に現われる！」これが、今年の私たちへの神の言葉です。私たちには、日々、神の力が必要ではないのでしょうか？どうしたらそれを豊かに経験することが出来るのでしょうか？その為にはもっと聖書を読むべきでしょうか？祈るべきでしょうか？奉仕し、献金すべきでしょうか？さらにあれをし、又、これをすべきなののでしょうか？いいえ！神の力は、私たちが自分の弱さを認めるとき、その時、最も大きく現わされるのだとパウロは言うのです。それがパウロの生涯における体験でした。

この言葉によって、今年、神が私達に願っておられることは明瞭です。何よりもまず、自分の弱さを認めることです。自分に能力や知恵、知識がないことを恥じないで、むしろそういう弱さを持った人間として神の前に出ましょう。そしてありのままの自分でいましょう。そこから今年を始めようではありませんか。神が、こうおっしゃっているからです。「わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである」と。この言葉をパウロが聞いた時、彼は何と言ったのでしょうか？

「私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。・・・なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです」

ですから頑張るのはやめましょう。自分の弱さを認め、ただ自分のできる最善をする。それだけでよいのだと思います。「人間の弱いところにこそ、神の力が現わされる」。この逆説が神の国の法則です。よく霊的とか霊的でない、といった表現が使われますが、霊的とは何でしょう？異言や預言を語り、超自然的な体験をすることでしょうか？イエスは言われませんでした

か？「その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』」(マタイ 7章22節・23節)

私も、信仰に入った頃、立派なクリスチャンになろうと努力しました。私は進んでこんな讃美歌を歌ったものです。「世の楽しみよ去れ。世のほまれよゆけ！」しかし、どんなに力強くそう歌っても、現実には、世の楽しみからも、世のほまれからも、完全には脱しきれない自分の姿を日々見せつけられてきました。この世の力は強く、自分の力でそれを断ち切るなどできなかったのです。それならどうすればよいのでしょうか？ただイエスにすぎるとはありませんでした。私には、強いイエスの牽引力(私をご自分のほうに引っ張ってくださる力)が必要だったのです！そして昔の多くの聖徒たちは、イエスの、その牽引力の価値をよく知っていました。

『雅歌』に登場する女性は、「わが愛する者、美しいひとよ。さあ、立って、出ておいで」と呼ぶ、ひとりの高潔な男性の声を聞きます。ところが彼女は、その男性が誠実で、謙虚で、自分を大切に扱ってくれるすばらしい方であることを知りながら、自分のしたいことを優先し、その声に回答するのをずるずると先延ばしにするのです。するとその声はしだいに遠ざかり、聞こえなくなります。そのとき彼女は、自分の失ったものがどんなに大きかったかに気がつくのです。そこで彼女は言います。

「私を引き寄せてください。私たちはあなたのあとから





さを示してくださらなかったら、私たちは軽薄な人間のままでいたでしょう。しかし、神がご自分の恵みの深さを示してくださらなかったら、絶望的になっていたでしょう」と。ですから、大切なのは過ちを犯さないことではありません。むしろ、自分が過ちを犯す人間であることを認めることです。そこから健全な人生が始まるのではないのでしょうか。「善を行ないたいという願いはあるが、それをする力がない。ああ、私は何とみじめな人間なのだろう」というパウロの言葉はそのまま私たちの叫びです。そのような徹底的な無力さの中でじっとイエスを見つめます。欠けるものが多ければ多かれ、それだけ私たちは自分の貧しさに徹して神のあわれみを求めるのです。そのとき変革が訪れます。ルターはこれを「信頼に満ちた絶望」「慰められている絶望」と呼びました。

ある家庭集会でのことです。旅行中のご夫婦が、たまたま参加して下さったことがありました。奥さんは熱心なクリスチャンでしたが、ご主人はそうではなかった。それを知って、ひとりの方が、「奥さんがクリスチャンだと、おやさしくてよかったです」と、ご主人のほうにたずねられた。すると、ご主人の返事が返ってくる前に、奥さんが激しく手を横に振って、こう言われたのです。「いいえ、ちっともやさしくなれないんです。私の気性は激しいし、教会に行っても、私がちっとも変わらないので、主人は、いつまでたってもクリスチャンになってくれません。みんな私のせいなんです」その言葉に、一瞬、私たちはどう話を進めてよいかわからなくなりました。まもなく隣にいた彼女のご主人が、静かな口調で話し始められました。「ここにおられる方は、皆さんクリスチャンのようだから、申しませう。こんなことはだれにも、もちろん妻にも言ったことはないのですが、でもよい機会ですから。実は、妻が教会に行くようになって、妻は変わったなあとは私は、つくづくそう思って感謝しているのです。私への態度が、ほんとうにやさしくなりました」それを聞いた奥さんの目には涙が溢れていました。おそらく自分の信仰に対する夫の最初の評価の言葉だったのでしょう。夫はそんなふうに思ってくれたのかと、それがうれしくて涙を流されたのに違いありません。奥さんの感激の涙を見て、そこにいた私たちも、一瞬、何とも言えない感動に包まれたものです。奥さんは、何とか自分を変えようと努力なされた。努力しても努力しても、相変わらずの自分が悲しかった。そのために幾たび神に祈られたことでしょう。ところが自分の弱さを悲しむ奥さんの心は、確実にご主人の心を動かしていたのです。このように私たちの立派さが人の心を動かすものではありません。むしろ私たちの弱さや愚かさを素直に認め、それを悲しむ心が、人の心を溶かしてゆくのではないのでしょうか。■



2012年1月

チャールズ&amp;ダイアン・グリコ

この終わりの時代に生きるクリスチャンに

## 「神様は、何を望んでおられるのでしょうか？」



チャールズ&amp;ダイアン・グリコ

イエス様は私たちに、終わりの時代には、罪がノアの時代と同じようになると警告されました。「その（人の）心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾く。」創世記 6 章 5～8 節には；「すべての肉なるものが、地上でその道を乱していたからである。」とあります。私たちが国内そして世界のニュースを見たり、読んだり、聞いたりする時、私たちが「世の終わりに臨んでいる」（1 コリント 10 章 11 節）世代であると結論付けることは難しくありません。 私たちは非常に悪い時代に生きているだけではなく、増加する地震や津波、飢饉、クリスチャンに対する迫害や偽預言者たちなど…、増大する性的倒錯や暴力が、ポルノ、オカルトを通して、またインターネット、テレビ、ゲームなどの電子機器や、本、雑誌などにおいて神を冒瀆するようなことが急激に広がっています。 それでは新生して天国に籍のあるクリスチャンは、この破滅的な時代においてイエス様のために勝利の人生を生きる為には何をすべきでしょうか？

「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えて下さったものは、みなそうである。」

(1 コリント 2 章 9 節)

「神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ばれるからです。」

(1 コリント 2 章 10 節)

### 「求めましょう！」 聖霊様に求めましょう！

●私たちがキリストの花嫁としての高い召しにふさわしい者となれるように、イエス様の血潮できよめられ、聖く（純粹で）しみもしわもなく、神様からの力を受けてイエス・キリストに完全に明け渡すことができるように、聖霊様に求めましょう。そうすれば、聖霊様がこの終わりの時代にイエス様のもとへと引き寄せて下さる魂の大収穫に私たちも加えていただくことができるでしょう。「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたすべてとともにありますように。」（2 コリント 13 章 13 節）神様は私たちを信仰のある、強く勇敢な者にすることができます！

### 「元気を出しましょう！」 神は真実なお方です！

●元気を出して、神様のために偉大なことをする準備をしましょう、そして神様からの偉大なことを期待しましょう。覚えていてください！ 主は私たちに恐れのお霊ではなく、力と愛と慎みの霊を与えて下さいました。聖霊様は決して恐れません。聖霊様はどんな状況にあっても「克服する」力を私たちに与えて下さいます。また聖霊様は神様がして下さった

ことや今なされていることを私たちに教えてくれるだけではなく、これから神様が確かなにされることも教えて下さいます。神様はいつも勝利者です！そして私たちの内に住まわれる聖霊様は、今私たちが直面している、またこれから直面するであろうあらゆる試練や誘惑の中にあっても私たちを守って下さいます！（1 ペテロ 1:3-9 を読んでください）また、「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいませぬ。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えて下さいます。」（1 コリント 10 章 13 節）

### 「気付きましょう！」 神は誰一人として滅びることを望んではおられません！

●神様がこの時代において、クリスチャンや未信者に「目覚ましコール」のメッセージを送っていることに気付きましょう！ 21 世紀に生きるすべての人々にさばきがあることを神様は明らかにしています。そしてこの地から偶像礼拝者や憎悪や暴力を愛する者を最終的には滅ぼされます。人々や国のリーダーたちが自分たちの人生から神様を除外することを選択する時、彼らは、義なる審判者、唯一の神であり天と地の創造者であるお方の前に自分たちの命あるいは国をさらすことになるのです。私たちが神様ご自身から離れてはどこにも安全がないということに気付くために。しかし神は誰一人として滅びることを望んではおられません！「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世（私たち）を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。」（ヨハネ 3 章 15～17 節）

### 「神と交わりましょう！」 神様は喜んで神様を求める者に確かに報いて下さるお方です！

●神様と絶えず交わって下さい！他のクリスチャンと集まることをやめてはいけません。あなたがたの最も聖い信仰を建て上げるために霊において祈りましょう。「あなたは、祈るときには自分の奥まった部屋に入りなさい。そして、戸をしめて、隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いて下さいます。」（マタイ 6 章 6 節）

### 「祈りましょう！」 新しく生まれその籍が天国にある人々に、主は何を望んでおられるのでしょうか？

●「祈って下さい」…すべての真実なクリスチャンは熱心に、自分の国のため、国のリーダーのため、未信者や信者（自分たちを含む）の霊的覚醒（リバイバル）のために、そしてそのリバイバルがその国の社会のあらゆる部分に届くように、祈るべきです。 邪悪さや暴力がきよめられるように祈って下さい。 神様はたいへんな時代にあっても伝道の働きをいつも助けて下さいます。もし私たち神の子どもがすべてを神に委ねて物質主義の束縛から自由になるなら、神の真実なさばきを恐れることはなくなります。真実は…神のさばきの時こそクリスチャンがますます福音を広く宣べ伝えるときなのです。さばきの時こそ、クリスチャンの価値が明らかにされ、霊的な飢え渇きで人の心がかき立てられます。

2012年5月21日(月)～6月1日(金)

# マルコ・バリエントス師とキース・バンクス師来たる!

■アメリカ、テキサス州ダラス市より、二人の大物ワーシップリーダーが学院に来てくださいます。マルコ・バリエントス師が2001年に初めて来札した時、合同賛美祈り会などで語っていただいた結果、魂と霊を隔てる壁が「バリバリ」と音を立てて破れ、札幌の諸教会の間で霊的なブレイクスルーが起きました。今回11年ぶりですが、主にあって、更なるブレイクスルーが与えられて、諸教会が前進する事を期待しています。キース・バンクス師は親日家で知られ、優れたワーシップドラマーまた教師です。すでに何度も来日され、おなじみの方も多いかと思います。今回も鋭い実生活に基づいた実践的なティーチングに期待しています。毎日の講義のほかに、下記のイベントを計画しています。ぜひご参加ください!

- 5月21日(月)～6月1日(金) 学院講義
- 5月26日(金)～プレイズ&ワーシップ・イベント
- 5月27日(土)～ユース向けイベント



## キース・バンクス師 Keith Banks

■グローバル・ミニスターであり、教師としてプロドラマー。トレーニング・リソースや聖書の教えを提供する非営利団体「キース・バンクス・ミュージック」の創業者。プロドラマーとして10年以上のキャリアを持ち、音楽スタジオやテレビ・ラジオのライブレコーディングプロダクションで働いています。ジャズ、ブルース、ラテン、ポップ、ロック、ファンク、R&B、ゴスペル及びプレイズ&ワーシップといった様々なスタイルにおける多彩な音楽的経験で知られています。ラテン・グラミー候補のマルコ・バリエントス、ダブ・アワード受賞者のカリ・ジョーブ、インテグリティ・レコーディングのアーティスト、クラウド・クーン他多数のアーティストとともにレコーディングおよびミニ

ストリーを展開しています。クライスト・フォー・ザ・ネイションズの卒業生で、現在は非常勤講師を務めています。彼はまた、ダラス・バプテスト大学のビジネス・マネジメントの学士号を持ち、FMC(Fellowship of Ministers and Churches)から授けられた牧師でもあります。現在インターナショナル・クリスチャン教会のユース&英語担当牧師です。テキサス州ダラス在住、妻の亜紀さんと結婚して5年になります。



Marco Barrientos

## マルコ・バリエントス師

■牧師、賛美リーダーであり著者。テキサス州ダラスのクライスト・フォー・ザ・ネイションズの卒業生。リバイバル、リニューアルそして宣教のためにクリスチャンの機動力向上を助けるための教えと訓練を提供するミニストリーであるアミスタッド・クリスチャン・インターナショナルの代表。実践的な聖書の原則を、主の歌の預言的な流れに結びつけることで知られているコミュニケーターであり教師。その主の歌の預言的な流れは、神の臨在における力強い体験へと導き入れます。バリエントス師は、賛美礼拝をプロモートし、46の賛美礼拝プロジェクトをレコーディングしたレーベルであるアリエント・プロダクションの創業者で代表です。彼は、妻のカーラと二人の子供たちと住んでいるテキサス州ダラスにあるダイナミックな教会、セントロ・インターナショナル・アリエントの主任牧師として仕えています。

CFNJ聖書学院

## 新入生の紹介

2011年度の3学期から(2012年1月16日(月))2名の学生が新たに学びを始めました。これからの学生としての歩みの為にお祈りをお願い致します。

■去る1月16日、3学期初日、私の人生にとって最良、大転換の聖書学院入学が挙行された日でありました。今までの自らの事業経営に全力で取り組み、折に触れ活ける神様の不思議な導きと恵みの中で継続してこられたこと感謝で一杯です。そして今回、事業継承を機に人生後半の歩みを神の国の拡大の為に用いられ整えられたく願うものです。(2テモテ2章15節)

北海道 当別市 松田進



■入学まで導いて下さった神様に感謝をさせます。何よりも夫婦と一緒に学べるのが嬉しいです。

今までは自分の好きな道を選んで歩んできましたが、これからは主に従い、夫がつけた『歌歩』という名前のように、主に向かって歌いつつ歩んで行きたいと思います。

韓国 福島歌歩 (イエオン)





# 学院の講義と講師の紹介

●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。(席上献金あり、テキスト代実費。)通常の授業も聴講が出来ます。(有料)又、入学を検討されておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。



## 3学期のゲスト講師

クリスチャンライフ主任牧師・学院顧問

### 水野明廣 師

2012年3月5日(月)～8日(木)

●1・2時間目の授業  
(午前9時15分～11時25分)

## お知らせ

2011年度 CFNJ聖書学院 2012年3月9日(金)  
**卒業・修了式** 午前9時より  
●ゲスト/水野明廣師

## 新年度からの専任講師のご紹介

## 2012年度1学期講義予定表

### 1・2年コース

(敬称略)

	月	火	水	木	金
<b>1</b> AM 8:45~9:40	新約聖書概論 (1) 田中 信矢	詩篇の学び 田中 博	日本教会史 鍛冶川 利文	幕屋の学び 松原 望	ルカの福音書
<b>2</b> AM 10:00~10:55					
<b>3</b> AM 11:05~12:00					
	今日の聖霊 ジェラルド・グドール	賛美チームの 建て上げ 長沢 崇史	ワーシップ の神学 田中 満矢	今日の聖霊 ジェラルド・グドール	エリヤとエリシャ ジェリー・ジャンセン

### アルプスコース

	月	火	水	木	金
<b>1</b> AM 8:45~9:40	弟子訓練 金 聖圭	牧会 カンセニング (1) 小栗 昭夫	人間論 西森 昌二	ヨブ記 石田 吉男	聖書釈義 松原 望
<b>2</b> AM 10:00~10:55					
<b>3</b> AM 11:05~12:00					
	今日の聖霊 ジェラルド・グドール	霊的戦い 岡田 好弘	伝道の マスタープラン 鍛冶川 利文	今日の聖霊 ジェラルド・グドール	伝道の マスタープラン 鍛冶川 利文

### 選択コース

午後 PM 13:00~15:00	タンバリンクラス 平石 有紀子	英語クラス グドール・ジェラルド	ドラムクラス 田中 満矢	実習 (必修)	ドラマ演劇クラス 鍛冶川 紀子
	ボイトレーニング 新井田 路子	DTPクラス 岡田 好弘	ピアノクラス 新井田 路子		

(2012年4月16日～7月6日まで。4月16日は入学式。)

■1969年韓国生まれ。1997年に留学生として来日。1998年に日本宣教への召しを主から受け、CFNJ 聖書学院のALPSコースを2006年に修了。2007年から石狩市で開拓伝道を開始。ジーザス・コミュニティ石狩教会の牧師。台湾人の奥様、瓊(けい)さん(CFJN・ALPSコース卒)との間に2人の子供(イサク君とヨハン君)がありご家族と石狩を愛して石狩市に在住。



金聖圭 師

■1983年生まれ。札幌生まれ札幌育ち。ドサンコでありながら100%九州の血を持つ九州男児。テキサス州にあるChrist For The Nationsでワーシップ&ユースミニストリーを3年学び卒業。そこで日本人の救いのためにワーシップリーダーの召しを受け取り2009年帰国。現在、北海道超教派ユースミニストリー Growing Upリーダー、ナイト de ライト、ワーシップドラマーとして仕えながら札幌新生キリスト教会でむしゅらユースパスターとして奮闘中。2010年に結婚し結婚前より熱愛中。昨日よりも今日イエス様とラーメンの追っかけ中。



田中満矢 師

■小学6年生の時に姉の影響で賛美歌を作り始める。2007年関西聖書学院卒業。「Growing up」等様々なユースミニストリーを立て上げ、ワーシップリーダーとして多方面に活動。現在までに13枚のCD制作に携わり、作曲した多くの賛美歌は日本中で歌われている。全国を巡り、若者たちのネットワークを繋げる働きと共に、メッセンジャーとして教会だけでなく、ライブハウスや喫茶店や駅、路上、学校、病院などあらゆる所でイベントや集会を開き福音を伝えている。北海道出身。国内宣教師、カナンプレイズチャーチ、ユースパスター。



長沢崇史 師

# 台湾・香港・中国アウトリーチレポート!

2011年11月29日~12月12日

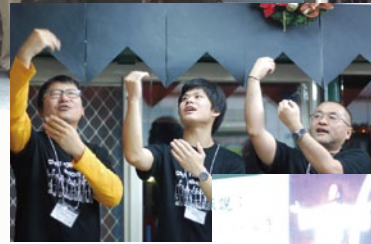


中国の高速道路



中国の三自愛教会での記念写真

ハレルヤ! 皆様からのご支援とお祈りに支えられて、昨年暮れ、無事にアウトリーチを終えることが出来ました。心より感謝いたします。全ての感謝と栄光を主にささげすると共に、以下ご報告致します。参加者全員のレポートは学院ホームページに記載していますのでご覧ください。



台湾の教会での奉仕

中国のショッピングモール

## 「台湾・中国アウトリーチを終えて」 2年・学生実習長 福井大化

「あなたがたにぜひ会いたいのは、「霊」の賜物をいくらかでも分け与えて、力になりたいからです。あなたがたのところ、あなたがたとわたしが互いに持っている信仰によって、励まし合いたいからです」(ローマ書 1:11-12)。

今回の台湾・中国アウトリーチは、まさにこの御言葉のとおりだったと思います。台湾、香港、中国は、主が本当に働かれていて、命のみなぎっている土地でした。ラブ・アジア・ミッション竹内宣雄宣教師が、今回の旅はカナンの偵察のようなものと仰っていましたが、これらの国々はまさに、乳と蜜の流れる土地でした。その霊的な豊かさを受け取ることができたと信じます。頂いたりバイバルの炎の種火を絶やさずに、さらに日本でも燃やしていきたいです。そしてまた、「豊かさ」についても多くを考えさせられました。経済的な発展をこれからますます遂げようとしている中国は、物で溢れかえっていました。しかしこの世の物質的な豊かさをクリスチャンも追い求めるべきなのか、「あなたがたは、神と富とに仕えることはできない」と仰ったイエ

ス様の言葉を、もう一度しっかりと受け止めたいと思います。個人的には、何千人も収容できる立派な会堂よりも、家の教会で見た、人々の飢え渴きと熱気に心打たれました。特別きれいな格好をしていなくても、聖霊様に満たされ、顔は笑顔で輝いていました。それこそが本当の豊かさではないかと思えます。家の教会のリーダーの方と交わりを持った際、こう語られていたのが印象的でした。「私たちは、自分のことはそんなに考えない。イエス様を信じ、神様の愛を受け取ったら、次に他の人にどうしたらそれを流せるかを考えます」。どこか内向きになっていた自分の信仰を、顧みしました。本気でイエス様の福音を伝えたいのかどうかを、改めて思わされました。彼らのように、シンプルに主に信頼し、次の人に主の愛を手渡しできるようにになりたいです。台湾、香港、S市の全ての教会の皆様、通訳と案内の労をとってくださった張さん、竹内先生、日本で祈ってくださった皆様に、そして何よりも、この旅を導いてくださった主に、心からの感謝を捧げます。主は生きておられます! ハレルヤ!



台湾、台北市の教会での奉仕



台湾、花蓮市の教会での祈り



中国、家の教会の様子

### 2011年度 CFNJ会計報告 (2011年1月~12月)

収入		支出	
前期繰越	5,340,472	給与手当	17,732,620
USA献金	14,132,061	謝礼金	1,576,700
団体献金	3,422,975	対外献金	393,000
個人献金	2,587,453	水道光熱費	5,211,955
ボイラー献金	50,217	旅費交通費	1,146,170
授業料収入	4,792,835	印刷費	801,143
寮管理収入	7,829,650	通信費	1,317,521
食費収入	2,407,283	消耗品費	553,725
その他の収入	520,226	火災保険	231,680
		修繕・維持費	2,171,184
		食費(材料費)	2,242,729
		広告費	224,745
		備品費	0
		その他の支出	1,564,602
		支出合計	35,167,774
収入合計	41,083,172	次期繰越	5,915,398
	41,083,172		41,083,172



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

# CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688  
●e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

